

分かりやすい授業

「94%の生徒が分かりやすい授業を実感！」

●鹿骨授業スタンダード(SJS)の定着

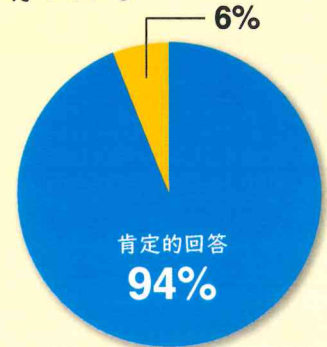
【本時の目標→ 学習活動→ 振り返り】という授業の構造を統一することで、授業での学び方が生徒に浸透して、94%の生徒が授業が分かりやすいと回答している。

また、授業規律「あじみこし」を定着させることで、失敗を恐れず、授業に参加できている。

－課題－「振り返りをさらに充実させ、学びの質を向上」

●SJSを意識して授業に取り組むことができている一方で、「振り返りの充実」が課題で振り返りの「問い」の充実を目指します。

●先生は、分かりやすい授業を行っている



SJS「授業規律あじみこし」を意識して授業に取り組んでいると回答した生徒は、

86%

主体的・対話的

「97%の生徒が主体的・対話的な深い学びを実感！」

●学習活動の工夫(授業改善)

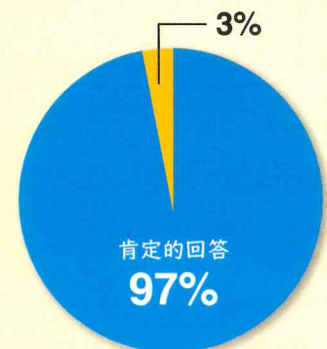
「発言や活動(発表)の場を多く取り入れた授業」を97%の生徒が実感している。SJSの取組を通して、主体的・対話的で深い学びを目指す授業改善が図られ、学習活動の質の向上につながっている。

また、「自分の考えや意見をもてる授業」ができていると、肯定的回答をした生徒も97%おり、主体的・対話的な授業改善が定着して、自ら学ぶ生徒が育っていることが分かる。

－課題－「教科外でも課題を見付け、考え、行動できる生徒の育成」

●教科外での体験、読書科を通して、「情報を収集、活用する力」、「生活課題を解決する力」の育成を目指します。

●先生は、生徒の発言や活動(発表)の場を多く取り入れた授業を行っている



学びのエンゲージメントテスト(ET)

ET「学び方を身に付けている生徒が全国平均を上回る」

●3年間積み上げてきた3年生は、ETの結果ですべての項目で全国平均を上回った。「学習のスキル」(106)、「エンゲージメント」(104)、「学びに向かう力」(105)という結果であった。よきエンゲージメントが獲得されていることが、標準化されたテストで確認できた。

－課題－「エンゲージメント向上のための指導」

●ETの結果を生かすため、「教科的アプローチ」「学級指導的アプローチ」「教育相談的アプローチ」の3つの視点から指導、支援を工夫する。

●学びのエンゲージメントテスト結果【第3学年】

